

音楽科 小学校第5学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	オリエンテーション ・ピリレーヴ	A(1) アイウエ	2		小学校第4学年 「学年の歌」 ・子どもの世界	○年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりする。	小学校第6学年 「学年の歌」 ・翼をください	■年間を通して愛唱していく歌唱教材とする。
5	楽譜を読もう ・赤い屋根の家 ・一輪の赤い花	A(1)アイ (2) アイウエ	6 (+2)	・読譜の力をつけていかなければならない。ハ長調とイ短調の楽譜を見て階名で読んだり、強弱記号をつかんだりする力をつけていかなければならない。	「楽譜を読もう」 ・あわてんぼうの歌 ・歌のにじ	○楽譜を見て歌詞や階名で歌ったり、長調の楽曲の感じや特徴をつかんで歌ったりする。 ○短調の楽曲の感じをつかんで、演奏の仕方を工夫する。	「楽譜を読もう」 ・明日という大地	■ハ長調やイ短調の楽譜に親しむ。
6	こころのうた ・こいのぼり	A(1)アイウ	1		「こころのうた」 ・とんび	○歌詞の内容を理解し、情景を想像しながら、思いや意図をもって歌う。 ○リズムや強弱、曲の山を生かした歌う方を工夫する。	「こころのうた」 ・おぼろ月夜 ・われは海の子	■情景を想像してのびのびと歌う。
7	いろいろな響きを味わおう ・いつでもあの海は ・リボンのおどり ・双頭のわしの旗の下に ・アイネクライネナハトムジーク第1楽章	A(1)アイウエ A(2)アイウエ B(1)アイ	7		「リコーダーをふこう」 ・雨の公園、子もり歌 「いろいろな音色を感じ取ろう」 ・パディネリ ・音のカーニバル ・リズムアンサンブル	○歌声や楽器が重なり合う響きの特徴や違いを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりする。 ○音の特徴や音色の違いを生かして、全体の響きのバランスに気をつけ、音の組合せを工夫して演奏する。	「いろいろな響きを味わおう」 ・星空はいつも ・ラバースコンチェルト ・歓喜	■合奏や合唱に生かせる工夫について気づいたことを話し合う。
9	和音の美しさを味わおう ・静かに眠れ ・それは地球 ・威風堂々 第1番	A(1)アイエ (2)アイエ A(1)アイエ A(2)アイウエ B(1)アイ	9		「音の重なりを感じ取ろう」 ・パレードホッホー ・ファラドール ・レッツダンス ・茶色の小びん	○和音の響きの変化を感じ取りながら和音と低音のパートを演奏する。 ○旋律の特徴や和音の響きを感じ取って歌ったり、聴きあったりする。 ○曲想の変化や和音の美しさを味わって聴く。	「和音の美しさを味わおう」 ・こげよマイケル ・燃え上がれ! ・星の世界 ・野ばら、コラール	■和音の響きや美しさを感じ取って、友達の声や音と調和させて合唱や合奏をする。
10	こころのうた ・子もり歌	A(1)アイウ	1		「こころのうた」 ・もみじ	○範唱を聞いて曲の感じをつかみ曲想を生かした歌い方を工夫する。 ○2つの旋律を歌い比べ、感じのちがいを生かして歌う。	「こころのうた」 ・ふるさと	■日本の旋律の特徴を感じ取る。
11	曲想を味わおう ・だれかが口笛ふいた ・ハンガリー舞曲第5番 ・リズムアンサンブル	A(1)アイウ B(1)アイウ A(2)アイエ (3)イ	9		「旋律の特徴を感じ取ろう」 ・つるぎのまい、白鳥 ・陽気な船長 ・オーラ リー ・ゆかいに歩けば	○旋律の特徴を調べ、曲想の変化を生かして表現を工夫して歌う。 ○好きなリズムを考えたり、音の組合せを考えて打楽器を選んだりしてリズムアンサンブルを楽しむ。	「曲想を味わおう」 ・広い空の下で ・木星 ・風を切って	■リズム唱やリズムアンサンブルをして楽しむ。

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
	・キリマンジャロ	A(2)アイウエ			・冬の歌	○互いの旋律や全体の響きを聴きながら曲想を生かして合奏する。		
1 2	詩と音楽を味わおう ・待ちぼうけ	B(1)アイウ	3		「日本の音楽に親しもう」 ・ソーラン節、南部牛追い歌 ・こきりこ ・リズム伴奏作り	○詩と音楽が一体となって生み出される日本の楽曲の美しさを味わうようにする。	「詩と音楽を味わおう」 ・箱根八里 花 ・思い出のメロディー	■言葉の持つリズムや抑揚を生かして歌い、楽曲の特徴や演奏の良さを理解して聴く。
1	こころのうた ・冬げしき ・スキーの歌	A(1)アイウエ A(1)アイウ	2		「こころのうた」 ・さくらさくら	○歌詞の内容や旋律の特徴に気をつけて、歌い方を工夫したり、日本語の美しさを生かして歌ったりする。 ○旋律の特徴やまとまりを生かして、主旋律の歌い方を工夫する。	「こころのうた」 ・越天楽今様	■互いの旋律を聴きあいながら二部合唱する。
2	日本と政界の音楽に親しもう ・春の海 ・世界の国々の音楽 ・アリラン、まつり花	B(1)アイウ B(1)アウ B(1)アウ	4		「日本の音楽に親しもう」 ・ソーラン節 南部牛追い歌 ・こきりこ ・リズム伴奏作り	○日本や世界の国々の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、我が国や諸外国の音楽に親しむ。 ○日本や世界の国々の音楽の良さや楽器の響きの美しさを味わいながら聴いたり、その雰囲気を生かして表現したりする。	「世界の音楽に親しもう」 ・世界の国々の音楽 ・アンデスの祭り ・リズムアンサンブル	■世界の国々の音楽を聴いてイメージを膨らませる。
3	音楽の美しさを味わおう ・大空が迎える朝 ・失われた歌 ・世界が一つになるまで ・つばさをだいて	A(1)アイウエ A(2)アイウエ A(1)アイウエ A(1)アイウエ	6		「音楽を楽しもう」 ・ドレミの歌 ・山の魔王の宮殿にて ・いろんな木の実	○今までに学習してきたことを生かして、音楽を表現する喜びを味わいながら、心をこめて表現する。	「音楽の楽しさを味わおう」 ・さよなら友よ ・メヌエット ・旅立ちの日に	■歌詞の発音に気をつけ、互いのパートを聴きあいながら、表情豊かに合唱する。
			50					